

研究だより



せらにし小学校研究部

令和2年11月 5日

No.9

11月に入りました。25日(水)の研究会に向けて、準備を進めていきましょう。まずは、次のことを確認しましょう。

◎本校の研究仮説に基づいて授業を進めていますか？

研究仮説

算数科を中心に、()と()を行えば、()の中で、()を育むことができるであろう。

- (1) 「せらにし授業スタイル」をもとに、()を使って自分の考えをもたせる。
- (2) 自分の考えを表現したり、深めたりさせるために、1時間の中に必ず()を設定する。
- (3) つまずきの要因分析に応じた指導の工夫を行う。(化・ 化・ 化)
- (4) ()を高めるために、帯タイムや家庭学習(自主学習)の工夫をする。



◎シミュレーションで確認すること

- ・本時の目標と児童に考えさせたいこと、ゴールに一貫性がありますか？

授業内容を説明することで、整理してみましょう！

- ・児童の実態に合わせた手立てとなっていますか？

本時、児童に何を身に付けさせるのか、そのために何を道具に、何を考えさせるのか。シミュレーションシートをもとに検討してみましょう！

★学年部でのシミュレーションですが、何か困ったことがありましたら、研究部(山崎)へ声をかけてください。



5日(木)、10日(火)、11日(水)のシミュレーションは、学年部で相談しながら進めてください。シミュレーションを受けて再度検討した学習指導案を12日(木) 昼休憩までに、起案を付けて、紙媒体で研究部(山崎)へ提出してください。その際、8月に提出していただいたものとどこがどのように変わったのかが分かるようにしておいてくださるとありがたいです。

起案後、浄書した学習指導案と教科書のコピーを付けて、13日(金) 午後4時30分までに出してください。13日(金)、松浦先生へ郵送で送ります。

